

平成29年度第4回郡上市男女共同参画推進会議 要録

期 日 平成29年10月18日（水） 15：00～17：00
場 所 郡上市役所 4階大会議室
出席者 推進委員8名（新井浩司、小島昭彦、小林道弘、村瀬一将、平井美津枝、小林美弥子、日置香乃江、村瀬英里子）（欠席：南波昌樹、和田明美）※敬称略
企画課 課長 河合保隆、酒井義文、和田淳子

合計11名

1. 開会（平井委員長）

2. 議事

（1）第8回ともいきフェアの流れについて

①事務局よりタイムスケジュール及び会場内の配置等について説明

（委員）出演者は写真を使わないで、持ち時間の10分間を話されるということであったが、視覚的にあった方がよいので、スライドを入れた方がよいのではないか。

（委員）このスライドの作成については村瀬さんをお願いしてよいか。

（村瀬委員）了解。

②チラシについて事務局説明

（委員）字体を丸ゴシックまたは手書き風にする、チラシ内に使ってある枠を丸くするなど、全体的に柔らかい感じに仕上げていただきたい。

（委員）託児については目立つよう大きく掲載していただきたい。

（委員）「おとう飯試食」だけでは、どんなものが出てきて試食できるのかわかりにくいので、「応募いただいたおとう飯のレシピのうち何点かを、料理人に調理していただき、試食します」などの説明が必要ではないか。

（委員）来年度にチラシを見た時にいつのチラシかわかるように西暦を入れた方がよい。

（委員）おとう飯の募集方法について裏面に掲載した方がよい。

（委員）「参加無料」ということを記載するとよい。

（事務局）以上の意見を取り入れ、修正する。

（2）おとう飯の募集について

（事務局）現在、応募が1件もない状況である。各乳幼児学級や育児サークルに行き、チラシを配布して応募を呼び掛けているが、なかなか応募に結びつかない。

（委員意見）お父さんが作った料理をスマホで撮って、コメントなどを添えてメールするのは結構手間なことである。他のお母さんたちに応募を呼び掛けても、手間がかかるのに何もメリットがないので進めにくい。応募すると100円のお菓子1つでももらえる、又は1等の人は郡上市商品券がもらえるなど

何か特典を付けてはどうか。

(事務局) 会場で試食するおとう飯を出す基準は、衛生的で会場で出しやすいものという基準であるし、おとう飯は立派な料理も簡単な料理もどちらもおとう飯であると内閣府の要綱には書いてあるので、1等など順位を付けることは主観が入り難しい。もし、特典を付けるとしたら、参加賞のような感じで出してはどうか。

(委員) おとう飯の予算のこともあるので、参加者全員に参加賞を出すということになると費用がどれだけかかるか見込めないで、先着何名に参加賞を出すということにしてはどうか。

(委員) 1万円の予算で、先着20名に500円の郡上市商品券を出してはどうか。

(事務局) 予算内で可能である。もし、20名も応募がなかったら、1万円の予算内で商品券に子供のお菓子などを添えて渡すこともできる。

(委員) そのような参加賞があると、お母さんたちにも進めやすいし、応募してもらえると思う。

(委員) おとう飯についてはどれくらいの予算を考えているか。

(事務局) ともいきフェア全体で20万円の予算と見積もっている。委員昼食13,000円、ダンスチームの子供へのお礼のお菓子・お茶で6,000円、出演者へのお礼一人5,000円の3名分で15,000円、昨年度の大和総合開発へのお菓子飲み物の委託費は30,000円ほど、チラシ作成40,000円ほど、託児のお礼18,000円ほどで合計122,000円になる。おとう飯には70,000円ほどかけることができる。

(委員) おとう飯は20~30名分でどうか。

(委員) 試食ということを考えれば、よいのではないか。

(委員) 量が多いので、市に炊き出し用鍋などあるか。

(事務局) 確認する。

3 その他 次回開催日について 11月13日または15日
当日の役割分担、おとう飯の選考

4 閉会 (小島副委員長)

以上